

2012年4月16日

長崎大学長  
片峰茂博士

2012年4月1日をもちまして核兵器廃絶研究センター（RECNA）が設立されたことを、長崎大学の関係者の皆様に心よりお慶び申し上げます。

メキシコと長崎は長きにわたって友好関係を築いてまいりましたが、核軍縮・不拡散・そして核兵器の全面完全廃棄を強く誓約しているという点でも共通の志を持っております。これらの目標に向けた我が国の信念は、世界で初めて非核兵器地帯を実現させた条約である、「ラテンアメリカ及びカリブ地域における核兵器禁止条約」、これはトラテロルコ条約の別名で知られておりますが、この条約を継続的に推進してきたことでもお分かりいただけたと思います。これら重要分野における国連の目標とともに資するべく、我が国は、その後に設置されました非核兵器地帯の国々との対話や協力も積極的に推進してまいりました。

核兵器のない世界を実現するという究極的な目標は、各国政府の努力だけでは達成できません。政府の呼びかけをいっそう普及させ、そうした努力の新たな方途を模索していくためには、市民社会、学者、そして RECNA のような研究センターの確固たる支持と協力が不可欠です。よって私たちは RECNA の創設を心より歓迎いたします。

メキシコ大使館は今後の RECNA の活動に期待します。国際の平和と安全の維持に欠かすことのできないこうした分野におけるメキシコの経験や見解について、ぜひ皆さまと共有させていただきたいと希望します。

ぜひ一度お目にかかり、メキシコと長崎大学の協力の可能性について議論できれば幸いに存じます。まずはこの機会に私の心からの敬意を申し上げてお祝いの言葉とさせていただきます。

クロド・ヘレル  
駐日メキシコ大使

（翻訳：核兵器廃絶研究センター）